

## 令和5年度第2回墨田区地域包括支援センター運営協議会議事要旨

## 1 日 時

令和5年11月15日（水） 午後1時30分から午後3時30分まで

## 2 場 所

墨田区役所2階 21会議室（オンライン同時開催）

## 3 議 題

- (1) 第9期日常生活圏域別地域包括ケア計画の策定について  
 (2) その他

## 4 出席者

## 【墨田区地域包括支援センター運営協議会】

氏 名	所 属 ・ 役 職 等	出 欠
◎ 鏡 諭	法政大学大学院	出席
○ 成 玉 恵	千葉県立保健医療大学	欠席
山 室 学	墨田区医師会	欠席
岩 崎 洋 子	本所歯科医師会	出席
北 總 光 生	向島歯科医師会	出席
堀 田 富士子	東京都リハビリテーション病院	出席
湯 川 淳	東京都柔道整復師会墨田支部	出席
鎌 形 由美子	墨田区民生委員・児童委員協議会	欠席
岩 田 尚 明	墨田区特別養護老人ホーム施設長会	出席
前 田 恵 子	墨田区社会福祉協議会事務局長	出席
濱 田 康 子	すみだケアマネジャー連絡会	出席
小 谷 庸 夫	墨田区訪問介護事業者連絡会	出席
佐 藤 和 信	第1号被保険者	出席
村 山 厚 子	第1号被保険者	出席
福 島 洋 子	第2号被保険者	出席
関 口 芳 正	墨田区福祉保健部長	出席

◎会長 ○副会長

以上13名出席

## 【事務局その他】

高齢者福祉課長、福祉保健部副参事（地域包括ケア推進担当）、介護保険課長、高齢者福祉課係長・主査5名、介護保険課主査1名

## 【高齢者支援総合センター】

9名

## 5 議事要旨

### (1-1) 第9期日常生活圏域別地域包括ケア計画の策定について

事務局から資料2「墨田区高齢者福祉総合計画・第9期介護保険事業計画 中間まとめ(案)(第4章一部抜粋)」、資料3「墨田区高齢者福祉総合計画・第9期介護保険事業計画 中間まとめ(案)(第7章日常生活圏域別地域包括ケア計画)」を用いて、第9期日常生活圏域別地域包括ケア計画の策定について(以下、9期計画という。)説明を行った。

**委員:**資料2「基本理念」にある施策の方向性の3つ目に、医療と介護の連携強化とある。在宅で過ごす高齢者の対応について、地域住民に知らせるために、活動指標として具体的に示されているか伺いたい。

**事務局:**資料2の60ページに、医療と介護の連携強化に関する活動指標は4つ記載している。墨田区標準様式情報シートの活用状況、多職種連携研修の参加者数の累計、墨田区在宅療養ハンドブック累計配布数、わたしの思い手帳(ACP)累計配布数である。

**委員:**地域住民に対して9期計画の周知はどのように行っていこうと考えているか。

**事務局:**行政の計画であるため、住民へ全戸配布を行うことはしないが、区のホームページに掲載させていただく。また、案の段階でパブリックコメントを行い意見を募らせていただく。この計画に基づき、区の事業や高齢者支援総合センター(以下、センターという。)の事業を実施していくことになる。それぞれの事業については、区で作成する冊子やホームページ等で周知させていただく。

**委員:**活動に参加していて、普段から興味のある方に対してはそれでよいと考えるが、そうでない人に対してはどのようにしているのか気になる。

**事務局:**新規事業を含め各事業については、センター等、様々なところを通じてお知らせをしていく。

**会長:**関連となるが、ダイジェスト版の作成予定はあるか。広報で周知することになると思うので、計画のポイントとなるものを周知されると思うがいかがか。

**事務局:**ダイジェスト版としては、概要版を作成する。12月に議会へ中間報告を行った後に、区報を利用し特集号を発行しパブリックコメントの実施についても周知させていただく。

**会長:**計画自体は委員から指摘があったように、分かりやすく周知していくと同時に、事務

局が説明したように各施策について、施策ごとに周知していくという2通りの方法で情報提供していくことでよいと思う。

理念的なものが中心となっているが、これまでの計画と比べて具体性があり、目標値が明確になったと思う。

(1-2) 第9期日常生活圏域別地域包括ケア計画の策定について

各センターより、資料3、資料4「第9期日常生活圏域別地域包括ケア計画(案)」を用いて説明を行った。

**会長:** アンケート調査の結果等を受けて、明確な目標や地域の課題を把握したうえで計画を立てていることが見て取れる。これまでよりも分かりやすい計画になっていると思う。

**委員:** 八広はなみずきの目指すべき将来像の記載があるページの中段に、「第一に、地域住民や医療・介護・福祉等の専門職の協力者を増やす取組である～」という内容について、「専門職の協力者を増やす取組」というのは、具体的にどのようなものか。

**八広はなみずき:** 地域にある済生会向島病院や中村病院の医師、医療相談員、栄養士の方等、多職種の方に、地域住民へ認知症や精神疾患等、医療の情報をわかりやすく伝えるための地域住民向け講座の講師をお願いしている。

また、目指すべき将来像にも記載しているが、「八広はなみずき地域を支える多職種連携の会」では、毎回30～40名の医療・介護の専門職の方にきてもらっている。その場でアンケートを実施し、地域住民向けの講座の講師をしてもよいという人を把握し、お願いすることもしている。

**会長:** ぶんかに対して2点質問したい。1点目は、11種類の社会資源リーフレットがあるとのことであったが、具体的にどのような方法で住民に届けることを想定しているのか。2点目は、ウォーキングで外出することを推奨し、そこで得た情報を活用して具体的な政策につなげるということであったが、得た情報をどのようにつなげていきたいと考えているか。

**ぶんか:** 1点目について、5年以上活動しており、現在はスーパーマーケット、コンビニエンスストア、クリニック、居宅介護支援事業所等に配布している。コンパクトで持ち運びしやすいものになっているので、配布場所含め、記載されている情報が地域住民の間に広がり、さりげない協力体制が築けたらよいと考えている。2点目については、プロジェクトに参加した人が誰かに伝えたくなくなったり、自分が習慣的に実行する人が増えればよいと考えている。

**会長：**1点目について、受け取る側が積極的でない人の場合は伝わらないため、自宅訪問等により情報を届けることを是非やっていただきたい。そうすることで、軽度の認知症の方を発見したり、次の支援に繋がると考える。2点目については、情報を得た後の具体的な支援について検討していただきたい。

**ぶんか：**積極的に情報を伝えていくこと、得た情報をどのように活用していくかということとを今後考え、対応していきたい。

**委員：**目指すべき将来像が具体化し、分かりやすく参考になった。地域でケアシステムがうまくいった場合、他の圏域と共有するような場があれば教えていただきたい。高齢化率の高いうめわかからお願いしたい。

**うめわか：**各種ワーキングの場で共有している。具体的には権利擁護、介護予防、ケアマネ支援ワーキング等である。またセンター・相談室連絡会も実施している。

**事務局：**うめわかからも話があったとおり、全てのセンターが集まる連絡会を実施している。そこで情報共有を図り、他のセンターの良い取組について活かすことができるように共有している。また、各センター以外には機能強化担当が各センターの後方支援を行っている。それぞれのセンターから挙げた特徴的な取組や、共有したい課題について、会議の場で共有し課題の検討を行い、横の連携がとれるよう取り組んでいる。

**福祉保健部長：**会長にご意見をいただきたい。第9期の施策の方向性の5番目に認知症施策の推進というタイトルをつけさせていただいている。認知症施策の基本的な考えとして、認知症になったとしても自分らしく生きていくということであるが、認知症の予防という使い方はなるべく避けて、認知症の予防を促進するという表現の方が良いのではないかと考えている。各センターの計画の中で、認知症の予防という使い方をしているところがあり、こういった表現をこれからも使用して問題ないかご意見をいただきたい。

**会長：**認知症を予防するという事は確かに難しいことである。様々な取組が認知症の予防になるという明確なエビデンスもない状況であり、予防という言葉で表現することが必ずしも適当ではないと思っている。

**事務局：**本体の計画の中でも認知症の予防というのは使われており、6月に公布された認知症基本法の中でも認知症の予防という言葉は使われている。先ほど福祉保健部長からお伝えしたとおり、進行を遅らせるという考えであると思う。予防というフレーズとしては記載してもよいのではと考えている。

**会長**：予防という言葉を使うのであれば、「予防を目指す」や、「予防につながる」というような、予防ということを明確に打ち出すのではなく、それを目指した何らかの事業であるという意味を込めて言葉を添えていただき、目指した事業、行為であるという程度に留めておくことが重要であると思う。

**会長**：同愛の計画の中にかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局とある。同愛において、何%程度の人がかかりつけ医を持っているという情報は把握されているか。

**同愛**：同愛圏域の数字としては、ニーズ調査の中で、かかりつけ医に関しては、82.7%、かかりつけ歯科医は71.1%、かかりつけ薬剤師は58.2%と、区全体の数字と比較してもいずれも高い数字となっている。

**会長**：かかりつけ医の概念はどのようなものか伺いたい。医院やクリニックとイメージしているのか、大病院をかかりつけ医と思っている人も多くいる。

**同愛**：同愛の圏域は、川を渡ると大学病院があるような地域であるため、そういった病院をかかりつけ医と考えている人が多い。我々が思っているのは、地域の身近な距離にある医療機関であるが、説明しても理解いただくのが難しいところである。

**会長**：住民の方がかかりつけ医と思っていたところが、厚生労働省が想定しているかかりつけ医ではない可能性がある。そういった部分を精査したうえで、同愛圏域で何%にしたいという具体的な目標を持つていくことが必要であり、区も支援していく必要がある。

**事務局**：同愛で回答いただいた数字は、区のニーズ調査における数字である。ニーズ調査の調査票には、かかりつけ医の定義として「幅広い知識と見識を備え、健康に関することを何でも相談でき、必要な時は専門の医療機関を紹介してくれる身近にいて頼りになる存在」と定義している。

**会長**：回答した人が必ずしも理解したうえで回答しているとは限らず、ミスマッチが生じている可能性がある。自らの生活圏域の中で信頼できる医者をおくということが、かかりつけ医の理由だと思うので、そこを得られるような努力を行ってほしい。

**委員**：事務局から話があった定義は日本医師会が出しているものである。かかりつけ医と主治医の意味を混同する人が多く、現在定義の再検討を行っている。

**委員**：共有したい事項として、私が主催している「地域の社会資源を創り上げる会」に

において」11月24日（金）18時30分から「評価と価値について」という内容で研修会を実施する予定である。

**委員：**今回のニーズ調査の結果は、千葉大学へ解析のお願いをしていると思うが、その結果データもセンターの皆さんに届いているのか。

**事務局：**解析については、保健計画課から千葉大学へお願していると聞いている。結果については今年度分かると聞いているので、保健計画課からセンター等へ展開していきたいと考えている。

**委員：**地域活動支援事業に活かすため、千葉大学の先生と協働して勉強会を行う予定である。グラフィカルなデータをもとに、地域診断等ができるのではないかと期待している。是非センターの方にも出席してもらえればと考えている。

**事務局：**現在の話については担当の方から連絡をいただいている。この会議の終了後、センターに対し案内文を送付させていただく。

**会長：**中間まとめ案ということで、最終決定に向けて十分議論できなかったところや、質問を逃したことがあるといけないので、1週間程度質問の期間を設けたいと考える。

**事務局：**ご意見シートを送付させていただくので、質問等あれば記載のうえご返信いただきたい。

**会長：**各圏域において地域ケア会議を複数回実施し、ニーズ調査を参考にしながら計画を作成したということで、住民の方々の意向を汲んだ計画になっていると思う。これを束ねれば、墨田区全体の介護保険計画を含めて、墨田区高齢者福祉総合計画・介護保険事業計画になると思う。また、地域からの素晴らしい取組や課題については、きめ細かい会議を行っていく中で様々な意見が出され、共有されていると思う。地域での成功事例や失敗事例についても自らが消化し、政策に結びつけていると思うので、共有化する取組は非常に重要と考える。

## (2) その他

事務局より2点報告を行った。

- ① うめわか高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室の一時移転について  
うめわか高齢者支援総合センター・高齢者みまもり相談室が入っている施設である「シルバープラザ梅若」が、長期修繕計画に基づく大規模改修により一時休館となる。そのため、令和6年2月13日（火曜日）から3月16日（土曜日）まで、一時的に同一圏域内にある「梅若橋コミュニティ会館」内で業務を行う。

② 令和5年度墨田区地域ケア会議について

令和4年度に行った墨田区地域ケア会議のまとめにおいて、「場所」「機会」「担い手」の3点から課題と求められる方向性を整理した。これをもとに、それ以後取り組んだ内容の進捗と、その後に行われた圏域ごとの地域ケア会議の結果の整理等を基に課題の具体化を行い、より議論を深めたいと考えている。年明けに地域ケア会議として現場レベルでの意見交換を実施した上で、第3回本協議会において、委員の皆様にも検討内容に関し意見をいただきたいと考える。

**会長:** 令和4年度の地域ケア会議では、活動場所に困っていることや、費用の問題など、様々なものがあがってきた。これについては、具体的な形で政策づくりを進めていると聞いているので今年度期待が持てると思う。課題や解決してほしい内容があったらご意見をいただければと思う。

6 事務連絡

事務局から、令和5年度第3回の開催時期について説明し閉会した。